

令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	33・1	学校名	清水南高等学校・同中部	記載者	石川 芳恵
------	------	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業で力がついた」と答える生徒の割合：80%	B	B	中部は、目標値を越えているので、高校ももう少し頑張らせて欲しい。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：80%	C	C	コロナ禍のため、学習機会は増加したはずである。日々の具体的な目標提示ができなかったのではないかな。
		校内演奏会、公開レッスン等実施回数：年間計12回	C	B	コロナ禍という特殊事情だったので仕方がない。やれることでベストを尽くしていただき、ありがたい。
		美術鑑賞、実技講習会等実施回数：年間計10回	C	B	コロナ禍という特殊事情だったので仕方がない。やれることでベストを尽くしていただき、ありがたい。
		授業公開週間実施回数：年間4回 外部講師による講演満足度：80%	B	B	コロナ禍という特殊事情だったので仕方がない。研修会の満足度(教員評価)は高く、Aでもいいくらいである。
		アクティブ・ラーニングの実施に取り組む教員の割合：80%	A	A	アクティブ・ラーニングとは何か。教員の自己申告が89%ならいい数字である。今後とも授業改善を継続して欲しい。
		測定ツールで把握した学力に基づき授業改善に取り組んだ教員：80%	B	B	測定ツールは、具体的に何を活用したか。
		「協調性、表現力、忍耐力が身に付いた」と答える生徒の割合：80%	A	A	忍耐力という指標に不自然さを感じる。集中力、持続力という表現の方がいいのではないかな。
イ	こころざしを育む進路指導の充実を図る。	講演、講義等の回数：年間計10回	A	A	問題なし。
		「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合：80%	A	A	問題なし。中高一貫校の特色がアンケート調査の結果にも出ている。
		[中部]学力到達度調査 評価A以上：30%以上(中3) [高校]国公立大学合格者数：25%	A	A	国公立大学合格者数がこころざしを育む指標として適切なのか。学力が高いことのみを評価していないことは、説明から理解できるが、この表記だと誤解を招いてしまう。
ウ	効果的な生徒指導・保健指導を推進すること	「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合：80%	C	B	高校(78.6%)もほぼ達成していると考えていいのではないかな。
		教員参加による交通安全街頭指導の実施：年間10回	A	A	時間外の仕事であり、ありがたい。

様式第5号

	で、規範意識と自己肯定感を高め、心身ともに健康な生徒を育成する。	「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合：70%	B	B	高校になるにつれて数値が減少していくのは、生徒の成長の証である。
		「自分には良いところがある」と答える生徒の割合：70%	C	B	ちょっとした場面で、教員からの声掛けがあると生徒の自己肯定感が高まる。しかし、教員側の声掛け等の取り組みまでを考えると難しい問題となってしまう。
		「相談室だより」発行：年間5回 生徒向け掲示板更新：毎月1回	A	A	引き続き内容を充実させて発行して欲しい。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：80%	B	B	高校で数値が下がるのは、生徒の自立へ向けての成長の現れであると考ええる。
		「保健だより」の発行：毎月1回	A	A	積極的に発行回数を増やして、新型コロナウイルス感染防止に努めていただきありがたい。
エ	学校行事、部活動等の充実を図り、社会性と自立心を育成する。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：80%以上	A	A	引き続き指導をお願いしたい。
		部活動ガイドラインの遵守および各部活での毎月の活動計画作成と、生徒・保護者への周知	B	B	部活の活動計画が保護者に周知不足なのは、コロナの影響か。家庭のコミュニケーション不足の影響もあるのではないか。
		海外研修で「充実している」と答える生徒の割合：90%以上 海外交流行事実施：1回以上	C	A	コロナ禍で海外に行けなかったのだから仕方ない。それより生徒の満足度の高さや度重なる変更に対応した教員の努力を評価したい。
		ボランティア活動・社会貢献活動・奉仕活動経験生徒：60%以上	B	B	ボランティアは、自発的なものなので難しい。ボランティア活動を「奉仕活動」に変更すれば、数値はクリアする。
		「学校生活が充実している」と答える生徒の割合：70%	A	A	引き続き指導をお願いしたい。
		全校読書会の生徒充実度：70% 図書館貸出数：4000冊以上	B	A	2ヶ月の休校期間の貸し出し数を割り引けば、十分に目標は達成している。借りる生徒は多く借り、借りない生徒は0である。他の指標が必要ではないか。
オ	開かれた学校づくり、安心・安全の学校づくりを推進する。	土曜オープンスクール参加者数：年間1,600人 ホームページアクセス：年間500,000件	B	A	コロナ禍で開催できない中、可能なことは十分やっている。体験入学時の学習の中学へのフィードバックは、評判化が良い。コロナでアクセス数が逆に増加し多面がある。
		PTA 総会出席率：50%以上 学年保護者会の出席率：50%以上	B	B	コロナ禍という特殊事情だったので仕方がない。役員と相談してできることを確実に行って良かった。
		実践的防災訓練実施：年間3回 地域防災訓練参加率： 中等部 75%、高校 45%	C	C	密を防ぐための中止は仕方がないか、大切なことなので、ハザードマップの作成等、できることを行って欲しい。
		講話や研修等の取組：月1回以上	B	A	状況を聴けばマイナスにする要因はない。どんな研修を行っても、不祥事が発生してしまうことはある。

様式第 5 号

カ	環境美化、事務業務の効率化、働き方改革を含めた業務改善を行う。	平常の清掃、学期初めと終わりの清掃及び全校清掃の徹底	A	A	建物は古いですが、綺麗に保たれている。引き続きお願いしたい。
		予算執行等に関する校内研修会の開催：年 1 回	A	A	重要なことである。マンネリ化しないよう続けて欲しい。
		夏季休暇の取得率：100% 時間外勤務一ヶ月 45 時間以上、 年間 360 時間以上の教職員：0%	C	B	夏季休暇の取得率 100%は、ありがたい。夏季休暇を取得していながら、出勤している人もいるのではないか。芸術科がある特殊な状況下では、一部の教員の負担が増加するのは、仕方がないことではないか。先生方には感謝している。
		職員会議における報告の簡潔化と審議の効率化による勤務時間内での会議の終了	B	B	引き続き時間の有効活用を心がけて欲しい。